

男女共同参画の視点での評価項目
①事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか
②性別による固定的な役割分担等が行われていないか
③事業の対象者を男女に想定し双方が利用、参加しやすいような配慮がなされているか
④事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか
⑤広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか

当該事業を男女共同参画の視点で、評価項目ごとに評価をしてください。

- 5 十分に考慮されている
- 4 ある程度、考慮されている
- 3 若干、考慮されている
- 2 ほとんど考慮されていない
- 1 まったく考慮されていない
- 該当しない

## 男女共同参画プランにかかる事業の実施状況 (記載例)

課名 男女共同参画推進課 担当・電話(内線) 高橋 (4861)

目標	中項目	施策方向	主要な事業の平成21年度実施概要	事業費(決算額/千円)	22年度予算/千円	摘要 (未実施の場合)	評価1	評価1の理由・課題等	評価2				
									①	②	③	④	⑤
(例-1)	1	1	(1) ○各種講座等の開催 ・男女共同参画塾の開設 男女共同参画社会に関する必要な知識を習得し、その推進を担う人材育成を図るための講座を開催した。 「男女共同参画講座」 1月22日～2月19日 全4講座 受講者58人	520	165	当該事業期間内での推進状況を評価してください。 A 積極的に推進できた B 十分ではないが推進できた C あまり推進できなかった D まったく推進できなかった	A	男女共同参画プランの計画期間中毎年、講座を企画、開催し、人材の養成を図った。	5	5	4	4	5
(例-2)	1	1	(2) ○「広報おびひろ」による啓発の充実 未実施	0	137	平成15年7月号 セクシュアルハラスメント防止の啓発 平成16年2月号 育児休業制度の啓発	B	講座や情報誌、一行詩の展示などさまざまな方法で啓発に努めたが広報による啓発が未実施の年もあった。	5	5	4	5	5
(例-3)	2	1	(1) ○女性国内派遣研修の充実 事業休止	0	0	平成14年度まで実施していたが、平成15年度以降、事業を休止した。	C	事業を休止したため。	5	5	—	4	4
(例-4)	2	1	(3) ○農業委員、農業団体役員の女性枠設定促進 未実施	0	0	農業団体等へ働きかけを行い、女性枠の設定を促していく。	D	講座をとおり促進を図っているが枠の設定には至っていない。	—	—	—	—	—
※ 事業の実施概要については、 <b>時期、箇所、人数</b> など、数値によりできるだけ具体的に記入願います。													

※ 目標、中項目、施策方向の番号は、添付ファイル「プランの体系」の番号を記載してください。